



● 第16回「日本の近代戯曲研修セミナー」in 東京 ●

—— 特集・木下順二 ——

課題戯曲
木下順二 作

『風浪』

(昭和28年初演)

演出：福田善之

明治以後の劇作家が
新たな演劇を求め、
何に挑んだかを探る。
ヘリーディング &
シンポジウム開催！

東京での開催が第16回目となる今回は、「夕鶴」「オットーと呼ばれる日本人」「子午線の祀り」などで知られる木下順二を取り上げます。これまで「日本の近代戯曲研修セミナーin東京」では、さまざまな近代戯曲作家を取り上げながら、それぞれの時代の中で劇作家がどんな演劇を生み出していたのかを探り、読み解き、互いに話し合うことを行ってきました。第11回目からは、連続して大正時代作品・作家を取り上げできました。前回の加藤道夫「なよたけ」と今回の「風浪」は、戦中に執筆され、戦後上演された戯曲です。

2017年

10.23 (月) → **11.5** (日)

【会場】芸能花伝舎

研 修

(研修の様子を見学できます。また、議論への参加も歓迎します。)

10月23日(月)、24日(火)、27日(金)、28日(土)、
30日(月)、31日(火)、11月1日(水)、3日(金)

【時間】14:30～19:30 ※開始時間、終了時間は多少変更することもあります。

【研修参加費】各回500円 (テキスト代は別途実費の場合あり) ※協会員は無料

リーディング発表 & シンポジウム

11月4日(土) 13:00～18:00

13:00～リーディング『風浪』

16:00～シンポジウム「風浪が戦後演劇にもたらしたもの」

パネラー：福田善之 ゲストパネラー：七字英輔

11月5日(日) 13:00～18:00

13:00～リーディング『風浪』

16:00～シンポジウム「我が師、木下順二の仕事について」

パネラー：福田善之 他

【リーディング&シンポジウム参加費】各回1500円

文化庁委託事業「平成29年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

主催：文化庁／一般社団法人 日本演出者協会 制作：一般社団法人 日本演出者協会